



選挙の概要

- 告示日 4月12日(日)
- 投票日 4月19日(日)
- 市議会議員の定数 28人

立候補予定者説明会

この選挙に立候補を予定している人を対象に、説明会を次のとおり開催します。立候補に必要な手続きのほか、必要書類の交付と記載方法などについて説明します。立候補を予定している人(代理人も可)は必ず出席してください。

- 日時 3月12日(木)
- ▼市長選挙 10時～
- ▼市議会議員選挙 14時～

■場所 大崎生涯学習センター(パレットおおさき)

4月29日任期満了に伴い、大崎市長選挙・市議会議員一般選挙を次のとおり行います。

大崎市長選挙・市議会議員一般選挙を行います

問 選挙管理委員会事務局
☎ 9124



多種多様な作品が来場者を楽しませました

1月31日、2月1日の2日間、三本木保健福祉センターふれあいホールで、「第5回みんなの展示会」が開催されました。この展示会は、コロナ禍で児童・生徒や地域住民の作品を披露する機会が減る中で、発表の場を提供しようと三本木まちづくり協議会が始めた「地域のみんなでつくる展示会」です。5回目の今回は、園児や小・中学生、住民が寄せた絵画や書道、工芸作品などバラエティーに富んだ約380点の作品が会場を彩りました。また、企画展「私と三本木の写真」では、三本木地域の魅力や懐かしさを感じる写真が展示されました。来場者は、感性あふれる絵画や心のこもった作品に足を止め、温かいまなざしで見つめていました。



▲表現豊かな作品を鑑賞する来場者

■マイナンバーカードの臨時日曜窓口【予約制】

日時	3月15日(日) 9時～正午
場所	市民課(市役所本庁舎1階)
受付内容	①マイナンバーカードの受け取り ②電子証明書の発行更新 ※マイナンバーカードの申請・券面変更・暗証番号のロック解除および再設定は対象外となります。
定員	先着30組(予約制)
持ち物	①マイナンバーカードの受け取り ▶ 交付通知書 ▶ 本人確認書類(ア1点またはイ2点) ア マイナンバーカード(有効期限満了日から6カ月以内のもの)、運転免許証、パスポートなど イ 資格確認書、医療受給者証、介護保険証、学生証、診察券(氏名と生年月日の記載があるもの)など ▶ 暗証番号届出書 ②電子証明書の更新 ▶ 本人のマイナンバーカード ※①②各手続きを代理で行う場合は、持ち物や手続き方法が異なります。
予約方法	3月2日(月)9時から12日(木)16時まで 市公式LINEの予約フォームまたは電話で予約



■住民異動に関する届け出の臨時日曜窓口

日時	3月29日(日)、4月5日(日) 8時45分～16時
場所	▶ 市民課(市役所本庁舎1階) ▶ 松山総合支所市民福祉課 ▶ 岩出山総合支所市民福祉課 ▶ 田尻総合支所市民福祉課
受付内容	住民異動(転入・転出・転居など)に関する届け出 ※マイナンバーカードの申請・受け取り・暗証番号のロック解除および再設定は対象外となります。

■平日のマイナンバーカードなどの受け付け窓口【予約優先】

期日	平日(祝日を除く)
場所	市民課(市役所本庁舎1階)
受付内容・時間	①マイナンバーカードの受け取り 9時～、10時～、11時～、 ②電子証明書の発行更新 13時30分～、14時30分～、15時30分～ ③戸籍の婚姻届 9時～、14時～
予約方法	市公式LINEの予約フォームまたは電話で予約 ※予約は2開庁日前までとなります。



市では、DX推進に伴う窓口業務の見直しにより令和7年12月から窓口受付時間を変更し、日曜窓口を終了しています(21ページ)が、年度の切り替わりである3・4月は窓口の混雑が予想されるため、次の日程でそれぞれ日曜窓口を臨時開庁します。また、平日は待ち時間の削減と混雑緩和のため、マイナンバーカードの受け取りなどについて予約優先の窓口を導入しています。

3・4月の臨時日曜窓口の開庁および平日のマイナンバーカードなどの予約優先窓口について

問 市民課住民異動担当 ☎ 6079

文化財を火災から守りましょう

1月23日、岩出山地域の国指定史跡・名勝「旧有備館および庭園」で「文化財防火デー」に伴う消防訓練および火災防ぎょ訓練を実施しました。

今年で72回目を迎える「文化財防火デー」は、昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建築物である奈良県の法隆寺金堂が炎上し、国宝の壁画が焼損したことを契機に、昭和30年に制定されました。毎年1月26日を中心に全国各地で文化財の防火運動が行われ、文化財愛護に関する意識の高揚が図られています。

当日は建物からの出火を想定し、通報訓練・初期消火訓練・避難訓練のほか、2年ぶりに、消防車両を出動させた実践的な放水訓練を合わせて実施し、有事の備えを再確認しました。

市では、今後も関係機関と協力して、貴重な文化財を災害から守り、後世に継承していきます。



▲池の中央に向けて5栓で放水しました

冬の「大崎耕土」を駆け抜けました

2月1日、「第53回田尻クロスカントリー大会」が開催されました。

当日は時折雪が舞う厳しい寒さでしたが、6歳から83歳まで県内外から768人が参加しました。

参加者は、部門ごとに2.5キロメートルから最長10キロメートルまでの各コースを出走しました。うっすらと雪をまとった「大崎耕土」を駆け抜け、真っ白な息を弾ませながら一歩一歩力強くゴールを目指しました。

沿道の温かい声援に加え、ゴール後には温かい豚汁の振る舞いもあり、完走したランナーたちを癒やしました。

寒さをものともせず完走を果たした参加者たちは、互いの健闘をたたえ合い、会場には熱気と笑顔が広がりました。



▲寒さを吹き飛ばすような力強い走り